

# タウンミーティングで出された意見等に係る 前期基本計画への反映状況

六合地区(実施日:平成29年8月30日)

対応状況・反映状況の凡例  
 ◎…すでに前期基本計画に盛り込まれているもの  
 ○…前期基本計画に反映したもの  
 ×…前期基本計画には反映しないもの  
 -…質問等により、特に前期基本計画に反映する必要がないもの

※色が塗られたものは、当日挙手制による意見交換を行ったものです。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考(前期基本計画内反映箇所など)
1	藤枝市は近隣自治体では唯一人口が増加しています。静岡市のベッドタウン化していることと人口流入を促進する高層マンション等の建設でその受け皿になっていると思われます。(六合地区は次の候補か?)島田市ではこのような人口対策はどのように考えていますか。また、併せて企業誘致を積極的に進める努力をしていますか。シャッター通り化した島田市駅前や本通りを再生・活性化する方策は検討していますか。	以前、六合駅周辺について区画整理事業実施の要望が上がりましたが、調整がつかずに見送られた経緯があります。現在の土地価格が低迷している状況において、駅周辺の皆さまの土地を活用した大規模事業を実施していくことは難しい状況です。人口が増加している六合地区は、緑に囲まれ、安全で豊かな暮らしを確保することをまちづくりの方向性としてします。	—	
2	東町地域のみ的人口増になっているものを分散化する計画などはないのか。	地域ごとの特性を活かしたまちづくりを進めているところであり、人口を分散化する誘導策は考えていません。	—	
3	六合地区の地域づくりのテーマで「緑があふれ、多様な世代が交流する地区を目指して」とありますが、具体的にどのような事業を実施する予定ですか。	人口増加している地区として、生活環境の向上に配慮した事業を実施していきます。特に、大きい事業としましては、通勤・通学時間帯の渋滞を緩和し、児童・生徒の安全を確保するために実施する道悦旭町線六合駅南交差点から旧タイヨー六合店交差点までの拡幅と交差点右折レーンの設置や、六合地区の南北を結ぶ幹線道路となる谷口道線(JR東海踏切~桜橋)の道路拡幅を実施します。なお、これにはJR踏切部の拡幅改良工事も含まれています。ほかに、地区の玄関口となる六合駅の利便性向上を目的に、南口ロータリーの改良工事を実施します。	—	
4	第2次総合計画の主要プロジェクトですが、ハード面のプロジェクトはありますが、ソフト面のプロジェクトはありますか。	ソフト面の重要プロジェクトの一例として、子どもを持つ親の経済的負担を軽減する、保育料の第2子半額・第3子無償化のほか、子どものよりよい教育環境を提供する教育支援員等の拡充、さらに学校と地域のあり方の検討を進めていきます。また、引き続き、シティプロモーション島田市緑茶化計画の取組を進めていきます。	—	
5	計画策定が問われる市町の合併は今後ありますか。	国の方向は合併から連携へと舵が切られており、当市においても平成28年度からしずおか中部連携中枢都市圏に加わり、各種連携事業において、国の財政措置を受けています。なお、現在のところ積極的に市町村合併を推進していく予定はありません。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
6	重点施策を8年間で完了させるための財政計画はどうするのか。労働人口が減少する中で重点施策が多すぎないか。	具体的な事業計画（年度計画）について、総合計画の3層目にあたる来年9月策定予定の実施計画で示していきます。その中で、財政計画と整合をとり、事業の優先順位を明確にしていきます。	—	
7	現計画の評価は新計画にどう反映されているか。	現計画の策定時（平成25年度）に実施した市民意識調査を、同じ内容で以降毎年度継続して実施し、市民の幸福感のほか施策の満足度・重要度の分析をし、新計画に反映しています。	—	
8	行政改革の手段としてPDCAが挙げられてきた。市役所の現状はどうか。政策の誤りを認めず言い訳に終始する姿勢がみられる。改善策はあるか。	島田市行政経営戦略を策定し、業務のムダ・ムリ・ムラをなくすことを念頭に置いた行政運営に努めていきます。さらに、副市長を2人体制とし、行政経営に力点を置いた市役所づくりに力を入れていきます。	—	
9	人口減少の具体的な対策は。	人口減少対策については、平成27年度に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけ、総合計画ではそれらを包含し、未来を確かなものとする総合的な指針としているところです。 具体的には、総合戦略は「稼ぐ産業を創出し、しごとをつくる」「まちの魅力を高め、移住・定住を促進する」「子どもをまん中に子育てし、自然動態を増加させる」「健康長寿の暮らしやすいまちづくり」の4つを柱とし、総合計画では、その4つの柱を盛り込みながら市民生活の安全・安心の確保を軸に広く目指すべまちづくりを描いています。	—	
10	人口が増加している六合をもっと人口の増えるような対応をしないか（建物以外で）。	六合コミュニティや道悦島応援隊などが活発に活動する高い地域力を背景に、JR六合駅ロータリーや主要幹線道路、さらに、それを補完する生活道路など、快適な居住空間の形成につながるハード整備を進め、人口が増加する魅力あるエリアにしていきたいと考えています。	—	
11	六合地区や他地区での実施する事業でどのくらいの費用がかかるのか。優先順位をつけたほうがよい。	具体的な事業計画（年度計画）を総合計画の3層目にあたる来年9月策定予定の実施計画の中で示していきます。その中で、優先順位について、事業費等を考慮したものとしていきます。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
12	人口目標の見通しと実現性について教えていただきたい。	<p>「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の中で、2060年の目標人口を8万人としています。これは、同時に策定をした「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、国、県の総合戦略の施策の効果が十分に発現すれば、2040年に合計特殊出生率は2.07へ上昇、社会移動は2020年頃に均衡する想定です。</p> <p>これにより緩やかな人口減少と年齢構成のバランス維持により高齢化率は2040年に35.3%のピークを迎えた後、2060年には32.9%と想定される中で、更なる合計特殊出生率の上昇や地方創生の進展を期待し、目標人口を8万人としています。</p>	—	
13	人口減少の具体的政策は何がありますか。東町地区は人口が増加していますが、今後の自治会運営が難しくなると思います。	<p>人口減少対策については、平成27年度に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけ、総合計画ではそれらを包含し、未来を確かなものとする総合的な指針としていくところ。具体的には、総合戦略は「稼ぐ産業を創出し、しごとをつくる」「まちの魅力を高め、移住・定住を促進する」「子どもをまん中に子育てし、自然動態を増加させる」「健康長寿の暮らしやすいまちづくり」の4つを柱とし、総合計画では、その4つの柱を盛り込みながら市民生活の安全・安心の確保を軸に広く目指すまちづくりを描いています。</p> <p>なお、人口減少と高齢化が進み、市内でも高齢化率50%を超える行政単位も増えてきました。地域のつながりを維持していくためにも、自治会の再編について検討していかなくてはならない時期にあると考えています。</p>	—	
14	新市民病院建設について、医師の確保は大丈夫なのか。具体的確保策、京都大学との関わりは怎么样了のか。	<p>現在、定期的に市長自ら浜松医科大学を中心に情報交換を行い、医師派遣を要請するなど確保に努めています。</p> <p>なお、最近では京都大学からの医師派遣が以前と比べて難しい状況にありますが、病院事業管理者が医師派遣の要請のため定期的な訪問を継続しています。</p>	◎	<p>施策の柱1-2-4 ・地元医大をはじめとした関連大学に対し、医師派遣の働きかけを継続するとともに、医学生や看護学生に対する修学資金制度の活用を図り、医療スタッフの確保を進めます。</p>
15	高齢化対策について具体的な内容を教えて欲しい。	<p>一人ひとりの自立した生活と健康寿命の延伸のため、介護予防事業や生きがいづくり事業に積極的に取り組み、また、安心なくらしを提供するため、地域における支え合いのしくみづくりや、関係機関との連携による包括的かつ適正なサービスの提供に努めていきます。</p>	◎	<p>施策の柱1-3「生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす（高齢者・介護）」の中で具体的な取組を示しています。</p>
16	多くの施設を保有して維持管理経費が高額になり大変かと思えます。長寿化の考え方を聞いていますが、島田球場の特に変電設備の現状を踏まえた改修計画はいかに考えますか。対応が必要かと思えます。	<p>御指摘いただいた点について、維持管理費、修繕経費、施設更新費の全体枠の中で実施可能かどうかを含めて検討していきます。</p>	◎	<p>施策の柱7-4-1 ・公共施設を「財務」「品質」「供給」の視点から評価した上で、公共施設の整備や運営維持に関する用途別の方向性を「公共施設適正化推進プラン」として整理します。</p>

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
17	藤枝・島田両駅前のにぎわいに大差がついた。原因と対策は	現状においては、「静岡市への通勤圏」などの地理的な要因も含め、民間投資に違いが生じていると認識しています。今後は、現在、策定を進めています中心市街地活性化基本計画にて、5年先の中心市街地のまちづくりについて検討し、活性化を目指していきます。	◎	施策の柱3-3-1 ・中心市街地活性化基本計画に基づく施策を、商店街や地域住民、関係団体、市内企業等と連携して実施するとともに、おび通りなどを活用したさまざまな主体が開催するイベント等により、中心市街地のにぎわいを創出します。
18	新東名インターチェンジのマルシェの計画について、JA大井川のまんさい館が藤枝と島田で品揃えと賑わいに大差がついている。大丈夫なのか。	賑わい交流拠点のマルシェについて、大井川農協から、農林水産物の品揃えについては、まんさいかんの島田店、藤枝店、焼津店を合わせた規模を予定しており、現在生産者の皆様への説明会などを開催して供給体制を構築していると聞いています。 併せて、ここにしかない農業体験メニューを揃え、他の施設との差別化を図っていく計画です。	◎	施策の柱3-4-3 ・市内の優良農林産品を賑わい交流拠点で製造・加工販売し、知名度を高めていきます。
19	島田市に登記されている法人（企業）数、従業員の総計、過去10年ほどの推移（増減）、今後10年ほどの見通しはどうか。	島田市内に事業所のある企業数は2千社ほどで、この10年間大きな増減はありません。従業員数は現在3万人弱で、この10年で5千人ほど増加しています。 今後の見通しについては、国内外の経済情勢にも影響されるものと思われ、増減を想定することは難しい状況です。	—	
20	田代の郷の利用状況は。	田代の郷温泉入館者数（過去3か年） ・平成26年度 204,502人 ・平成27年度 179,158人 ・平成28年度 185,180人 平成23年度から4年連続で200,000万人を超えましたが、平成26年度からは減少傾向となっています。平成28年度は、前年度と比較して約6,000人増えています。	—	
21	茶業の振興と販売促進について何故茶業が衰退していくのか。また、耕作放棄地が何故増えるのか。茶業では生計が成り立たないからであると思うが、それをどうやって振興して販売促進をしていくのか。	茶改植補助や茶園基盤整備などの農業施策に加え、首都圏などで当市産茶葉の販売・PRのほか、海外への売り込みを行うなど、シティプロモーション島田市緑茶化計画とリンクした取組を進めてきました。 また、産官学が連携して、てん茶が配合された2次製品を開発し、その後引き合いが増えるなど、新たな可能性を拓いたと考えています。 第2次総合計画では、引き続きこれらの取組を深化させながら、中山間地においては、国内外で需要の高まりをみる抹茶に対して、農業所得の向上を図るため、地域性を活かした有機てん茶の製造への取組を推進していきます。	◎	施策の柱3-4-1 ・農林生産物を効率的に栽培・収穫・加工できる施設整備や、中山間地域の特色を活かした農業を進め、所得の向上を図ります。 施策の柱3-4-3 ・シティプロモーションや他産業と連携して、お茶の販売促進活動を国内外に展開していきます。 施策の柱5-2-2 ・アンテナショップや様々なイベントを通じて、当市の一番の魅力ともいえるお茶のすばらしさ、そして「日本一のお茶のまち 島田」を、多くの人に伝える機会を創出します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
22	コミュニティバスは路線変更が可能なのか。	路線変更は可能ですが、民間事業者が運営する路線と重複しないことや地域住民が合意していることに配慮して検討しなければなりません。	—	
23	高島から桜橋、下流の桜堤防の整備計画は具体的にありますか。また、大津谷川へ水の流れを戻してほしい。ここ5年間位水の流れがない。以前は「カワセミ」等の水鳥が多くいました。	大津谷川については国が管理する河川であることから、御指摘の点を伝えていきます。	○	施策の柱6-1-3 ・大雨による浸水被害を最小限に抑えるため、中小河川の改修や排水路の整備を計画的に進めます。また、 <u>国・県が管理する河川の整備促進や適正な維持管理を要望していきます。</u>  ※下線部を追加しました。
24	六合のようなコミュニティ活動の拡大は市内でしていないのか。	市内には六合コミュニティ委員会のほか、相賀、初倉、伊久美、金谷の各コミュニティ委員会、神座・鶺鴒友の会、ふるさと伊太を明るくする会、大津自治会、NPOまちづくり川根の会が島田市コミュニティ推進協議会の構成団体として登録され、各団体が特色ある活動をしているものと認識しています。	—	
25	はなみずき通りの岸町グラウンド付近に商業施設（大型）ができるような計画などあるのか。	現在のところ、記載いただいたような計画は把握していません。	—	
26	地域のまちづくりとして、駅南を中心とした区画整理は立ち消えのままとするのか。	島田駅南地区については、過去、土地区画整理事業の可能性調査をした経緯がありますが、その後の調整がつかず実現に至らなかった経緯があります。 土地価格が低迷している状況の中で、今の時代実現は難しい状況にあると認識していますが、地元からの要望がまとまれば検討していきます。	—	
27	六合駅前広場の改良はどのように進めていくのか。	平成29年度において、測量及び雨よけシェルターの設置やバス、タクシー、一般車両の駐車スペースの確保など駅前広場の利便性の向上に向けた設計を行っています。 平成30年度以降に事業が実施できるように住民の皆様をはじめ関係機関と協議していきます。	◎	施策の柱6-3-6（冒頭部） 人口増加が顕著な六合地区では、六合駅利用者数が増加し、送迎車両による混雑の常態化等が課題となっています。地域交通の中核となる六合駅駅前広場の整備を進め、利用者の利便性と安全性を高めていきます。
28	JRの立体交差（六合地区）の考えはありますか？	当面は立体交差の計画はありません。 なお、現在、ウエルシア西側踏切の拡幅、六合中西側交差点の拡幅を含めた谷口道線の改良事業を進めているところです。	×	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
29	東光寺インターチェンジのフルインター化について、市長も言っているバイパスの4車線化に伴うフルインター化は進んでいるのか。	現在、国道1号4車線化事業の中で、大井川橋部分、大代IC部分、さらに菊川ICの金谷御前崎道路の接続部分が見える形で進んでいるところです。 東光寺ICフルインター化については、時間を要することが見込まれますが、整備促進について国に働きかけていきます。	◎	施策の柱6-2-2 ・国道1号島田金谷バイパス及び藤枝バイパス4車線化の整備促進と東光寺インターチェンジフルインター化の事業着手を国・県に働きかけます。
30	東西の基幹道路は国道1号、岸元島田線、東町御請線、道悦旭町線と、進んでいるが、南北道路は一向に進んでいない。JRと国道1号が近すぎることは承知しているが、着地点を国道1号としている限り無理だと思う。思い切って両方をまたぐ幹線道路を計画できないのか。（JRと国道1号をオーバーでまたぐ）	事業費の規模などから考えて、当面、市道の立体交差について計画はありません。 なお、現在、ウエルシア西側踏切の拡幅、六合中西側交差点の拡幅を含めた谷口道線の改良事業を進めているところです。	×	
31	六合地区の南北の交通が不便である。踏切と旧国道1号の間隔が短く、信号と踏切の関係で移動に時間が掛かる。六合地区に1か所でもいいから立体交差ができないか。	事業費の規模などから考えて、当面、市道の立体交差について計画はありません。 なお、現在、ウエルシア西側踏切の拡幅、六合中西側交差点の拡幅を含めた谷口道線の改良事業を進めているところです。	×	
32	六合駅周辺整備について、藤枝の駅前の発展ぶりはずごいと思う。藤枝駅から4分と離れていないのになぜ発展しないのか。	藤枝駅南口は過去、市民病院移転後の広大な土地があったほか、住宅が点在し、農業投資をしていない白地農地が多かったことによるものではないでしょうか。 西焼津駅、安倍川駅と同様に、宅地化による利用者増によって駅が新設されたものであります。 従前、六合駅周辺の土地区画整理事業実施要望が、調整がつかずに見送られた経緯があります。 今後の方向性として、現在の土地価格が低迷している状況において、駅周辺の皆さまの土地を少しずついただきながら（減歩しながら）大規模基盤整備事業を実施していくことは難しい状況にあります。 あるべき姿について、地域の皆様の声を聞いていきたいと考えています。	-	
33	東光寺バイパス片インターについて、朝晩交通量が非常に多く、渋滞が発生している。いつ片インターがなくなるのか。また、東光寺ICより東名初倉方面に行く道路の拡大はいつできるのか。	現在、国道1号4車線化事業の中で、大井川橋部分、大代IC部分、さらに菊川ICの金谷御前崎道路の接続部分が見える形で進んでいるところです。 東光寺ICフルインター化については、時間を要することが見込まれますが、整備促進について国に働きかけていきます。 なお、東光寺ICから東名吉田IC、空港方面へ向かう道路として、はなみずき道路までの間の阿知ヶ谷東光寺線については舗装工事を継続し、JR踏切部から桜橋までの谷口道線については、拡幅工事に着手していきます。	◎	施策の柱6-2-2 ・国道1号島田金谷バイパス及び藤枝バイパス4車線化の整備促進と東光寺インターチェンジフルインター化の事業着手を国・県に働きかけます。 ・策定された道路整備プログラムにより、優先度に応じた幹線道路整備を行います。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
34	J R（鉄道）による南北が分断されている中、東西の道路は整備されているのに、南北の道路はなぜ整備されないのか。救急車もスムーズに走れない。	六合中西側交差点～J R（鉄道）区間の谷口道線については、平成32年度、工事着手を目指し進めています。	◎	施策の柱6-2-2 ・策定された道路整備プログラムにより、優先度に応じた幹線道路整備を行います。
35	人口が減少していく中、行政（サービス）の減少も考えていけないのか。	人口減少社会がもたらす限られた財源の中で、行政サービスを縮めながら充実させていく「縮充」の考え方に照らして、行政運営を進めていきます。	—	
36	要望申請はすぐやる課となっているが、具体的に担当する課へもっていけばすぐやってくれることがあるが、すぐやる課はどういった業務を行っているのか。	いただいた要望書のうち、すぐやる課の所管業務としては、道水路の管理や維持修繕、カーブミラーなどの交通安全施設の整備に関する自治会要望を取り扱っています。 当課以外の案件については、速やかに関係機関へ引き継ぎをしています。	—	
37	本日説明を受けた中では、島田市の人口減少対策は今ひとつと言える。 さらに突っ込んだ対策が必要と思われる。	人口減少対策については、平成27年度に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に基づき進めているところであり、そのエッセンスを第2次島田市総合計画に盛り込んでいるところであります。	—	
38	少子高齢化に対し、高齢者グループホーム、デイサービスと保育園、居場所等を合わせた複合施設があったら人が集まると思っています。	厳しい財政状況、さらに公共施設の再配置を進めるなかで、お示しいただいた内容を含む新たな施設整備は難しい状況にあります。 よって、当市では外出の機会が少ない閉じこもりがちな高齢者が身近な公会堂等に気軽に集まり交流できる居場所の整備（備品購入等）に対して補助金を交付し、仲間づくり、互いに見守り合う体制づくりを支援しています。	◎	施策の柱1-3-2 ・外出機会が少ない閉じこもりがちな高齢者が、気軽に集まり交流できる居場所の整備を推進し、仲間づくりや互いに見守り合う体制づくりを支援します。
39	非常に総花的であるという印象を受けた。	説明が総花的であったことにつきまして申し訳ありません。 なお、具体的な計画（年度計画）については、総合計画の3層目にあたる来年9月策定予定の実施計画で明らかにしていきます。	—	
40	今後予算も少なくなっていくことから、選択と集中が必要だと思う。	人口減少社会がもたらす限られた財源の中で、行政サービスを縮めながら充実させていく「縮充」の考え方に照らして、行政運営を進めていきます。	—	
41	本日この会合に参加して島田市のこれからの進め方について大変な説明があり、私はよろこんでおります。私の町内は現在新しいお宅が増え私も喜んでおります。すべての事業がうまくいくとは思いませんが、私は賛成いたします。	御意見ありがとうございます。定住人口・交流人口が増加する取組を進めていきます。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
42	地域とは住民と考えるか、住民のやること、市がやることが明確になっていない。	総合計画とは市民、事業者、行政が一体となって進めていく計画であります。必要となることは明確にしていきます。	—	
43	少子高齢化、特に高齢者の足の確保としてコミバスの充実が必要と思われる。	御提案のとおり、コミバスの充実が必要であると考えていますが、年々、バスの利用者が減少しているのが現状です。今後は、タクシーの利用、自治会やNPO主体による運行システムの構築を中心に公共交通の整備を図っていきます。	◎	施策の柱4-4-3 ・運行地域、予約方法、運行形態などを工夫し、公共交通としてタクシーを利用した移動手段の構築を目指します。 ・地域がワゴン車などで自主運行する取組を支援していきます。
44	「協働」のコンセプトが前の総合計画よりうすれたように感じます。今回の計画で示される事業に市民がどのように関与するのか、ややわかりにくいという印象を受けました。	タウンミーティングでは、各地域の取組を主とする説明であったため、市民協働に関する内容が少なかったかと考えます。 前後期基本計画期間において協働の理念が市民の皆様理解されつつあると考えます。新総合計画では、これを地域力の向上につなげていくことを主旨としていますが、協働のコンセプトの記載については再度検討します。	—	
45	人口減少への取組として、子育て教育環境への具体的な計画を。経済の循環として産業観光の積極的な計画を。企業誘致を行い、若者の住みよい環境を。	御指摘のとおりであると考えています。 基本構想の中で、大井川に育まれた水と緑豊かな自然環境の島田に生まれ、育ち、地域での繋がりや支え合いの中で住み続けられ、一旦は進学や就職などで島田を離れたとしても、かつての仲間たちと再び過ごしてみたい気持ちを呼び起こす、一人ひとりが人生を描くことができるまちづくりを目指しています。 そのためにも、義務教育時には「夢育・地育」の取組として、地域の文化・人材を活用し、島田の歴史・文化を重んじ、子どもたちの夢を膨らませることができるような島田独自の教育活動を実践しています。 さらに、新東名島田金谷IC周辺整備事業に代表される企業誘致による若い人たちの雇用の場を確保し、商工業・観光の分野でにぎわいのあるまちを目指した施策に取り組むなど、明るい未来を描くことができる島田市にしていく必要があると考えています。	◎	政策分野2「子育て・教育環境が充実するまちづくり」、政策分野3「地域経済を力強くリードするまちづくり」の中で、具体的な計画、取組を示しています。
46	高齢化による支援について、長く元気でいられることに対する支援が必要です。	高齢者が地域で生き生きと自立した生活を営むことができるよう、様々な介護予防事業の拡充を図るとともに、高齢者のボランティア活動をはじめとする社会活動への参加を促進します。	◎	施策の柱1-3「生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす（高齢者・介護）」の中で具体的な取組を示しています。



No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
47	人と人とのつながりは大切です。高齢者は話し合うのが好き、食べるのが好き、子どもと関わるのが好き、子どもとの交流が“健幸”の源です。福祉の会と協働で育ててください。	人と人との繋がりは、世代に関わらず大切にしていきたいと考えています。当市では、居場所づくり事業として、外出の機会が少ない閉じこもりがちな高齢者が身近な公会堂等に気軽に集まり、交流できる場の整備（備品購入等）に対して補助金を交付し、仲間づくり、互いに見守り合う体制づくりを支援しています。	◎	施策の柱1-3-1 ・高齢者の生きがいづくりと健康増進のため、老人クラブ等の社会活動への参加を促進し、その活動を支援します。 施策の柱1-3-2 ・外出機会が少ない閉じこもりがちな高齢者が、気軽に集まり交流できる居場所の整備を推進し、仲間づくりや互いに見守り合う体制づくりを支援します。
48	以前おおるりで説明のあった、避難計画（単独、複合）が検討途中であったが、その後の進捗状況が不明である。今回の説明にも無かった。重要テーマと思うが、どう考えているのか説明が必要と思う。	平成29年10月1日付けで原子力災害広域避難計画を策定し、公表いたしました。その内容は広報しまだ10月号に掲載しています。 なお、計画内容の周知・啓発を図るため、自治推進委員連絡会議で概要説明したほか、今後、各地域で説明会を開催する予定です。	◎	施策の柱1-1-1 ・災害発生時に、市として実施すべき対応や優先的に継続すべき業務などをまとめたBCP（業務継続計画）や原子力災害広域避難計画、新型インフルエンザ等対策行動計画、国民保護計画に基づく対応力を強化し、現行計画を継続的に検証します。
49	人口問題について、子育て支援において2子、3子の子供が地域に残る対応と対策が必要です。	御指摘のとおりであると考えています。 基本構想の中で、大井川に育まれた水と緑豊かな自然環境の島田に生まれ、育ち、地域での繋がりが支え合いの中で住み続けられ、一旦は進学や就職などで島田を離れたとしても、かつての仲間たちと再び過ごしてみたい気持ちを呼び起こす、一人ひとりが人生を描くことができるまちづくりを目指すとしています。 そのためにも、義務教育時には「夢育・地育」の取組として、地域の文化・人材を活用し、島田の歴史・文化を重んじ、子どもたちの夢を膨らませることができるよう島田独自の教育活動を実践しています。 さらに、新東名島田金谷IC周辺整備事業に代表される企業誘致による若い人たちの雇用の場を確保し、商工業・観光の分野でにぎわいのあるまちを目指した施策に取り組むなど、明るい未来を描くことができる島田市にしていく必要があると考えています。	◎	施策の柱2-2-2 ・子供一人ひとりの「豊かな心」「確かな学力」「健康な体」を育むため、子供の夢を膨らませる活動や、地域資源を生かした教育を行います。
50	子育ての学童保育について、両親が共働きですが、昭和の時代のように地域の子供は地域で育てるべき。会社においては会社内にあずかり保育所、児童をあずかる施設をつくり、親の働く姿を見せ、働く喜びを見させるべき。	「地域の子どもは地域で育てる」この方向性は、第2次島田市総合計画の中にも位置づけています。 目指す教育においても、地域の文化・人材を活用し、地域ぐるみで子どもたちを育て、子どもたちの夢を膨らませることができるよう島田独自の教育活動「夢育・地育事業」を実施し、島田の未来を担う子どもたちの夢を育む事業を実施しています。 保育園や放課後児童クラブの待機児童の解消に向けた取組を進め、保護者の就労を支援し、子育てのしやすい環境を整えていきます。	◎	施策の柱2-2-1（冒頭部） 行政を含め、地域全体で学校教育を支援することにより、教員が子供と向き合う時間を増やし、地域総ぐるみで教育力の向上を図ります。 施策の柱2-2-2（冒頭部） 子供たちの夢を膨らませることができるよう活動を積極的に支援します。また、地域の自然を生かした学びの場を創出し、子供たちのふるさと帰属意識の向上を図ります。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
51	介護職員不足について、デイサービスの75%及び、グループホームの50%に空きがある。施設の増設は計画的に実施すべき。そうすれば少しでも職員不足を無くすることができる。ある特養では人不足のため、満室になっていないとの話も聞く。その他、職員を増やす方法を検討願いたい。また、職員のケアスキル向上方法の検討も必要かと思う。	<p>平成29年8月末における市内のデイサービス（地域通所密着介護）の平均利用率は約70%、グループホームでは約90%となっています。</p> <p>介護施設は、介護サービスの需要を見極めながら、3年毎に策定する島田市介護保険事業計画に基づき計画的に整備を進めています。</p> <p>介護職員不足は、島田市だけではなく全国的な課題となっています。今年度から事業種別の連絡会を定期的開催し情報交換や職員同士が連携する機会を提供し、資質の向上を図ります。</p> <p>また、県や関係団体が実施する人材確保のための各種研修や補助事業などの積極的な活用や介護事業所自らが介護職の魅力、やりがいを広く市民等に発信し、介護職のイメージアップにつなげるよう支援していきます。</p>	◎	<p>施策の柱1-3-5（冒頭部）</p> <p>第7期介護保険事業計画に基づく介護保険サービスが提供されるよう、基盤整備を進めます。また、介護給付適正化計画を定め、各種適正化事業を実施し、高齢者にとって真に必要な介護サービスを適切に提供していきます。</p>
52	人口減少問題について、若者が大学進学で都会にいつてしまう。近くて便利だから東京に行ったら戻ってこない。大学を誘致したらいいと思う。	<p>国が大学の地方移転を進める方向性を示していますが、最近報道された大学設置の事例を見ても、新設学部の内容や規模にもよりますが、大学誘致に関して立地自治体に大きな財政負担が生じると考えます。</p>	×	
53	私は現在「百人会議」に参加させていただいております。観光・商工分科会に転属し、今現在「日本遺産」の登録の為に島田・金谷地区の歴史を学び、2020年度迄に100件の登録に間に合うよう行動していき、最終的には観光協会にて運営できればと考えます。「日本遺産」の登録が出来れば補助金を受けることができ、観光を中心とした産業の拡大による収入増や定住人口の増（仕事増）につながり、それが税収増になると思います。最後に、観光協会の充実、商工会議所、商工会それぞれの青年部に100人を超す若者が参加しております。女性部も含めそれぞれ10人位にご協力をいただき、協会に力と量を注ぎ込み活動できるようになれば目標達成になると思います。	<p>日本遺産については、日本の文化・伝統を語るストーリーとして訪日外国人旅行者の誘客を図るものです。常時見ることができる日本の魅力を伝える文化財が当市には少なく、既に認定されている日本遺産は観光地として認知度が高い地域です。</p> <p>当市単独での認定は難しい状況にありますが、関係機関等と可能性について協議していきます。</p>	×	<p>※日本遺産の申請の必要条件である歴史文化基本構想の策定については検討していく予定です。</p>
54	「稼げるまち」という言葉にやや違和感を覚えます。地域の外にお金が出ないとか、地域内に自立した経済基盤を構築するといったフレーズのほうがふさわしいと思っています。	<p>内閣府が主体となって進める「地方創生」は、「地域の稼ぐ力」「稼げるまちづくり」のフレーズを、取組の柱として位置づけているところです。</p> <p>したがって、国の方向性に準じ市として同じ表現を用いているところです。</p>	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
55	人口減少でも企業を誘致する産業推進や、観光の活性化で稼げることができるのでは。	御指摘のとおりであり、経済の好循環を生み出すその方向性を第2次島田市総合計画に盛り込んでいます。	◎	<p>施策の柱3-5-2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賑わい交流拠点を核に、高速交通網と鉄道網が交わることで生まれる交通乗換機能（モーダルコネクト）がもたらす経済効果を大井川流域全体に波及させていきます。</li> </ul> <p>施策の柱6-3-4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業用地として整備する堤間地区や牛尾山地区に、道路など都市基盤を整備し、企業誘致を促進します。</li> <li>・地域の農産物を販売するマルシェやレストラン、大井川鉄道新駅と一体となった「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」を、関連する団体と連携して整備し、農業振興とともに観光交流人口の拡大による地域振興を図ります。</li> </ul>
56	排水路整備について、川の水が大変汚れています。この水で農作物を生産。食べる気になれません。	当該箇所を拝見したい思いますので、市担当課（建設課）に御連絡ください。	◎	<p>施策の柱4-3-3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活排水による河川の水質汚濁の軽減に繋がるよう、各家庭及び事業所に対し、生活雑排水対策について指導・啓発を行います。</li> </ul>
57	温暖化が原因のひとつといわれる異常気象が大きな問題となる。防災対策には特に力を入れて欲しい。	<p>異常気象による災害のほか、あらゆる危機事態を想定して、当市がもつ地域力を背景に、市民の命と暮らしを守る体制強化に努めていきます。</p> <p>第2次島田市総合計画期間の取組の主なものとして、同報系デジタル防災行政無線の整備を急ぐほか、従来の情報収集処理システムの拡充を図っていきます。</p>	◎	<p>施策の柱1-1「ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）」の中で具体的な計画、取組を示しています。</p>
58	島田市緑茶化計画の進捗度がわからない。	<p>島田市緑茶化計画の進捗度を直接評価する指標は設定していません。</p> <p>なお、島田市緑茶化計画及びそれに伴って実施する事業は、シティプロモーションの推進を主目的とするものです。</p> <p>シティプロモーションの成果を図る指標「市民幸福度」を島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に設定しています。平成27年度と平成28年度を比較すると0.1ポイント幸福度が上昇しています。</p> <p>また、現在策定している第2次島田市総合計画前期基本計画のめざそう値については、全国地域ブランド調査の項目のうち「都市の魅力度」と「都市の認知度」を指標に設定する予定です。</p>	—	
59	岸町南北方向の道路整備について、現在も岸町から六合駅やロクティに行く場合、JA六合交差点や島田工業高校東の道路を利用しているが、通行しにくいです。	六合中西側交差点～JR（鉄道）区間の谷口道線については、平成32年度、工事着手を目指し進めています。	◎	<p>施策の柱6-2-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定された道路整備プログラムにより、優先度に応じた幹線道路整備を推進します。</li> </ul>

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
60	新東名のスマートインター島田の開設及び、国道1号バイパス東光寺ICの浜松方面への通行を可能とする整備を要望します。	<p>新東名高速道路の島田側は、平地が少なくトンネル部が多いこと、さらに島田金谷ICまでの距離が短いことから、その実現は難しいと考えます。</p> <p>国道1号の整備については、国の4車線化事業の中で、大井川橋部分、大代IC部分、さらに菊川ICの金谷御前崎道路の接続部分が見える形で進んでいるところです。</p> <p>東光寺ICフルインター化については、時間を要することが見込まれますが、整備促進について国に働きかけていきます。</p>	◎	<p>施策の柱6-2-2</p> <p>・国道1号島田金谷バイパス及び藤枝バイパス4車線化の整備促進と東光寺インターチェンジフルインター化の事業着手を国・県に働きかけます。</p>
61	短時間に大量の雨が降ると河川があふれる箇所がある。改修を望む。	現場を見させていただきたいので、具体的な箇所をお知らせいただければ幸いです。	—	
62	町内の水路に水が流れない。	現場を見させていただきたいので、具体的な箇所をお知らせいただければ幸いです。	—	
63	六合駅広場の改良については、地域住民の意見も聞いて欲しい。	今後の整備にあたり、地域住民の方々の意見を聞きながら進めていきます。	◎	<p>施策の柱6-3-6（冒頭部）</p> <p>人口増加が顕著な六合地区では、六合駅利用者数が増加し、送迎車両による混雑の常態化等が課題となっています。地域交通の中核となる六合駅駅前広場の整備を進め、利用者の利便性と安全性を高めていきます。</p>
64	市役所周辺整備事業のように、六合駅周辺整備として、南北の公園、ロータリー、市の駐車場、駐輪場を一体で計画し、公園は最小限にし、多目的使用では防災、イベントでは広場の設定を希望します。	<p>現在、駐輪場等を含めた六合駅周辺整備事業の計画はありませんが、六合駅前広場については、平成29年度において、測量及び雨よけシェルターの設置やバス、タクシー、一般車両の駐車スペースの確保など利便性の向上に向けた設計を行っています。</p> <p>平成30年度以降に事業が実施できるように住民の皆様をはじめ関係機関と協議していきます。</p>	◎	<p>施策の柱6-3-6（冒頭部）</p> <p>人口増加が顕著な六合地区では、六合駅利用者数が増加し、送迎車両による混雑の常態化等が課題となっています。地域交通の中核となる六合駅駅前広場の整備を進め、利用者の利便性と安全性を高めていきます。</p>

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
65	新東名島田金谷インターチェンジ周辺開発事業の具体性、将来性に大きな疑問、不安を感じます。	<p>IC周辺開発事業の核となる賑わい交流拠点には、マルシェやレストラン等を整備し、地元の農林水産物を加工販売するほか、農業体験プログラム等を準備し、農業の6次産業化ができる場所にしたいと考えています。</p> <p>広域交通の結節点としての利便性を活かした有利な立地条件によって、年間140万人の集客を見込んでいます。現在は、施設の基本計画、実施計画を今年度末を目途に策定しており、平成31年度のオープンを目指しています。</p> <p>今後は、みなさまの不安が解消できるよう、整備の進捗状況について、逐次情報を提供していきます。</p>	○	<p>施策の柱3-4-3 ・市内の優良農林産物が集まり、製造・加工・販売されることで農林業従事者の所得向上につなげていくほか、<u>農林業の良さを周知する農業体験プログラムが開催される「賑わい交流拠点」の運営を支援していきます。</u></p> <p>施策の柱3-5-2 ・賑わい交流拠点を核に、高速道路網と鉄道網が交わることで生まれる交通乗換機能（モーダルコネクト）がもたらす経済効果は大井川流域全体に波及させていきます。</p> <p>施策の柱6-3-4 ・地域の農産物を販売するマルシェやレストラン、大井川鉄道新駅と一体となった「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」を、関連する団体と連携して整備し、農業振興とともに観光交流人口の拡大による地域振興を図ります。</p> <p>※下線部を追加しました。</p>
66	六合地区の基幹道路・生活道路について、整備の工事計画期間を短縮してほしい。	市全体の道路整備状況、国からの補助金の内示状況を見ながら、計画的に進めていきたいと考えています。	◎	<p>施策の柱6-2-1 ・策定された道路整備プログラムにより、優先度に応じた幹線道路整備を推進します。</p>
67	岸町の人口増を考えた場合、中央公民館（駐車場の確保）が必要と思う。	<p>公会堂の建設については、市では自治会や町内会からの申請に基づき、その本体建設工事費に対して、公会堂の規模や世帯数に応じて補助しています。</p> <p>建設に関しては自治会等の計画に基づくものです。お住まいの地域の自治会・町内会長に御相談ください。</p>	-	
68	ロクティ西側の土地で現在駐車場や多目的広場として活用されている土地に幼稚園・こども園を誘致する計画があると聞きます。現在の活用方法以外にも地震等有事の際の避難地としても空き地のままにして有効活用していただきたく思います。	当該箇所の保育園整備については、ゼロベースで見直すことといたしました。	-	
69	自治会との窓口は協働推進課であるが、毎日の様に各々の課から通知がくる。ほかにも六合コミュニティ等からもきて、とてもさばききれないので、窓口を一本化してほしい。	<p>自治会をはじめとした地域の各団体等への通知については、年間を通じた事業計画に基づいて各課が、出席依頼、推薦依頼、提出依頼等の通知をさせていただいています。</p> <p>各事業における開催時期や提出時期等の違いもあり、協働推進課で市役所内全課の通知を集約することは難しいのが現状です。</p>	×	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
70	すべての源は人的資源である。人材育成には重点的に取り組んで欲しい。	多様化する市民ニーズに応えられるよう、職員の行政課題への対応能力を高め、地域の実情に応じた行政運営を行う人材育成を進めていきます。	◎	施策の柱7-2-2 ・多様化する市民ニーズと高度化する行政課題に対応するため、行政職員として高い素養と柔軟な発想力を持った人材の育成に取り組みます。
71	市役所周辺再開発計画だけでなく、多くの事業に民間の知識、経営手法、資金を導入した方がよい。	旧金谷中学校跡地利用を進める中で、公民連携（PPP・PF1）手法の活用しているところです。 他自治体をみると、道路をはじめとする公共施設の一体的な管理などの事例も見られることから、さらなる調査・研究を進めていきます。	◎	施策の柱7-4-3 ・公的不動産の管理・活用に関する一連の事業に対し、民間の資金や経営能力、技術的能力を取り入れることが可能かどうかを念頭に置き、公的不動産の価値の向上にとって最も合理的な手法を選択します。

※総合計画前期基本計画本文については、現在熟度を高める作業を行っているため、言い回しや表現方法など、変更される可能性があります。